

研究のキーワード

政教分離 信教の自由 宗教法令
 宗教行政 国家神道 神道・仏教・
 キリスト教・その他の各宗教団体の動態
 GHQの占領期 ナショナリズム

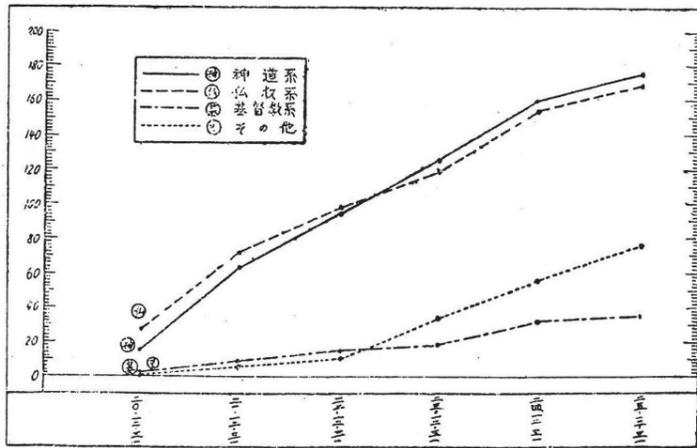
●戦後の宗教団体増加状況

「宗教集覧」第3巻 宗教年報より

(25.3.31現)

	神道系	佛教系	基督教系	その他	合計		
20	12	31	14	28	2	0	44
21	12	31	62(48)	72(44)	9(7)	8(8)	151(107)
22	12	31	95(33)	98(26)	13(4)	11(3)	217(66)
23	12	31	125(30)	121(23)	20(7)	35(24)	301(84)
24	12	31	160(35)	158(35)	32(12)	58(23)	406(105)
25	3	31	173(13)	170(14)	33(1)	67(9)	443(37)

備考 カッコ内は増加数を示す



戦前戦後の比較表

(25.3.31)

	戦前(20年)	分派	新設	計
神道	1	14		15
神佛	13	63	82	158
佛基	28	81	61	170
その他	2	18	13	33
の計	44	176	223	443

註一 20年の欄は宗教団体法による教宗派教団数であるが便宜上神社をも加えた。

監修・解説

磯前順一 (国際日本文化研究センター教授)・高橋原 (東北大学教授)

クレス出版

戦後日本の〈宗教概念〉及び宗教調査・文部省編

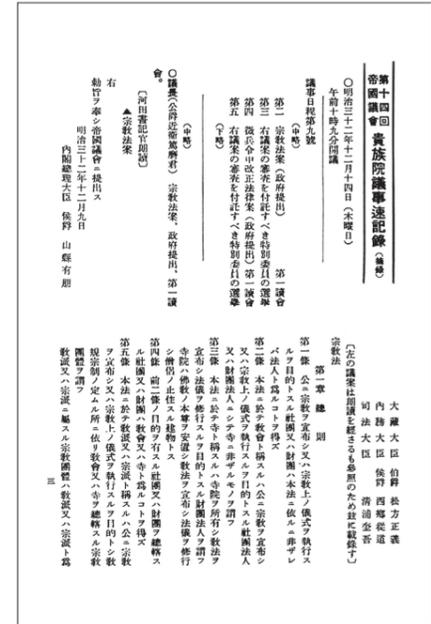
●電子書籍 宗教集覧 補巻2

戦前日本の〈宗教概念〉及び宗教法案・仏教連合会編

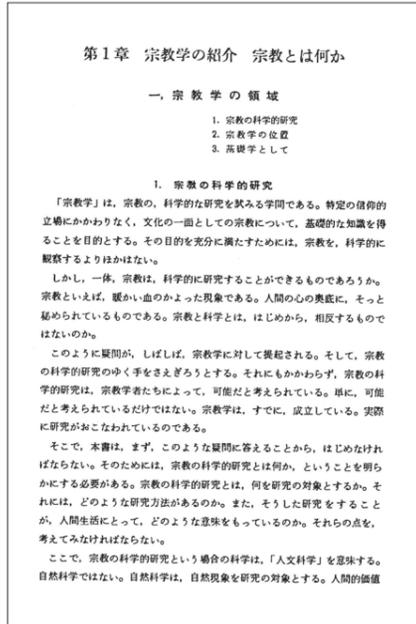
●電子書籍 宗教集覧 補巻1

●電子版 宗教集覧

平成15年(2005)に紙書籍で刊行した「宗教集覧」を電子書籍で再復刻!

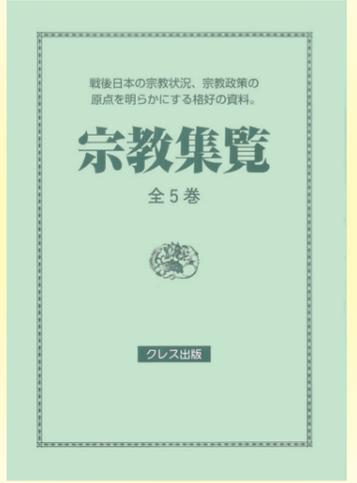


●宗教法案、政府提出(第一議会)
 補巻1 帝国議会と宗教法案問題より



●宗教とは何か
 補巻2 宗教の定義をめぐる諸問題より

引き続き〈冊子版〉
 「宗教集覧」発売中!



77,000円 (70,000円+税10%)
 ISBN978-4-87733-242-6

2024年12月配信予定!
 電子書籍
 GHQ 民間情報教育局と〈信教の自由〉政策
 ——神道指令と宗教学者・岸本英夫
 第1回 ※第2回は2025年4月予定
 監修・解説 磯前順一、マイクRマリンズ、高橋原
 ※詳細はクレス出版までお問い合わせください

紀伊國屋書店 学術電子図書館
KinoDen
 Kinokuniya Digital Library

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5メローナ日本橋704
 ☎03(3808)1821 (Fax) 03-3808-1822
 http://www.kress-jp.com/ クレス出版

電子版 宗教集覧	SalesID:KS00001500	同時アクセス1	84,700円 (77,000円+税10%)
電子書籍 宗教集覧 補巻1 戦前日本の〈宗教概念〉及び宗教法案・仏教連合会編	ISBN978-4-86670-108-0	同時アクセス1	48,400円 (44,000円+税10%)
電子書籍 宗教集覧 補巻2 戦後日本の〈宗教概念〉及び宗教調査・文部省編	ISBN978-4-86670-109-7	同時アクセス1	48,400円 (44,000円+税10%)

※同時アクセス3の価格は紀伊國屋書店にお尋ねください 連絡先 紀伊國屋書店 KinoDen ☎03-6910-0518 ict_ebook@kinokuniya.co.jp

アメリカの日本占領と宗教法人法（1945年）／『宗教集覧』（1916年―1951年）の資料的意義／姉崎正治『宗教学概論』（1900年）と宗教団体法（1940年）／昭和期の宗教法案／宗教団体法の成立／アメリカ軍占領下の戦後―宗教法人令（1945年）から／宗教法人法へ（1951年）／占領解放後の岸本英夫『宗教学』（1961年）

●電子版 宗教集覧 解説・全5巻

1 宗教要覧 文部省 大正5年（1916）年
 【目次抜粋】宗教ニ関係ノ重ナル法令、神道各教派沿革梗概、神道各派教師養成学校摘要、仏道各派経営各種学校一覧、神仏道以外ノ宗教所属各種学校一覧・・・／統計表―神道各派教会説教所府県別、仏道各派寺院・教会・僧侶・檀信徒、各宗寺院府県別表、神道各派ノ植民地及外国布教、神仏道以外ノ宗教ノ教会・宣教師・信徒、神仏道以外ノ宗教ノ教勢、特別保護建造物指定件数並棟数、国資指定件数・・・

2 宗教便覧 日本宗教連盟、文部省内宗教研究会、時事通信社編 昭和23（1948）年
 【目次抜粋】総論―日本宗教の概観・・・／現勢―宗教団体の沿革・教義・儀式・行事・組織、主なる神社・寺院・教会、宗教団体の強化活動の現状・・・／解説―連合国の対日宗教政策、新憲法と信教の自由、政教分離の沿革、宗教と平和運動・・・／資料―宗教に関する主なる法規・・・／統計―全国神社寺院教会布教所総数、教師及び信徒総数、宗教関係社会事業施設数調・・・

3 宗教年報 文部省 昭和26（1951）年
 【目次抜粋】概観―公立学校における宗教の取扱い・・・／現勢―解散した教団、神道指令をめぐる諸問題、税法の改廃と宗教法人・・・／統計及び資料―施設・教師・信徒数一覧、新設宗教法人増加状況、サンプル調査に現れた墓地の現状・・・／関係法規―宗教法人令、神道指令、宗教法人法・・・

4 宗教要覧 文部省 昭和27（1952）年
 【目次抜粋】概観―宗教界の展望・・・／現勢―神道、仏教、キリスト教、その他の教団／資料―宗教教育実態調査、戦災地における宗教施設復興状況、宣教師の活動状況、宗教関係実態調査収録・・・／統計―教宗派教団都道府県別一覧、年度別分派新設数、分派系統、宗教団体・教師・信徒数、宗教関係事業施設数一覧・・・／索引

5 宗教便覧 文部省 昭和29（1954）年
 【目次抜粋】概観―宗教団体の現勢・・・／現勢―神道、仏教、キリスト教、その他／資料―視聴覚布教の実態調査、講和後の政教分離に関する諸通達・・・／統計―宗教団体・教師・信徒数一覧、宗教団体・教師・信徒数都道府県別一覧・・・／索引



●電子書籍 宗教集覧 補巻1 戦前日本の〈宗教概念〉及び宗教法案・仏教連合会編

① 帝国議会と宗教法案問題 昭和9（1934）年

【目次抜粋】第1篇 第十四議会の宗教法案
 明治32年12月14日 宗教法案第一議會
 明治32年12月14日 徴兵令中改正法律案第一議會
 明治32年12月14日 宗教法案外一件特別委員
 明治32年12月16日 同 正副委員長
 明治33年2月17日 宗教法案第一議会の続
 明治33年2月17日 徴兵令中改正法律案第一議会の続
 明治33年2月17日 社寺上地林処分法案第一議會
 明治33年2月17日 同 特別委員
 第2篇 第五十二議会の宗教法案
 昭和2年1月18日 宗教法案第一議會、同 特別委員
 昭和2年2月12日 同 正副委員長
 第3篇 第五十六議会の宗教団体法案
 昭和4年2月15日 宗教団体法案第一議會、同 特別委員
 昭和9年2月15日 寺院等ノ国有境内地処分ニ関スル法律案第一議會、同 特別委員
 昭和9年2月19日 同 正副委員長

② 宗教団体法・勅令・省令―寺院等ニ無償ニテ貸付シタル国有財産ノ処分ニ関スル法律・勅令・省令 昭和15（1940）年

【目次抜粋】宗教団体法（昭和14年4月8日 法律第77号）
 宗教団体法施行期日ノ件（昭和14年12月23日 勅令第855号）
 宗教団体法施行令（昭和14年12月23日 勅令第856号）
 宗教団体法施行規則（昭和15年1月10日 文部省令第1号）
 宗教団体法参考条文―訴訟法、行政裁判法、民法、治安警察法、所得税法、明治32年内務省令第41号、明治33年内務省令第39号、明治36年内務省令第12号・・・
 寺院等ニ無償ニテ貸付シタル国有財産ノ処分ニ関スル法律（昭和14年4月8日法律第78号）
 寺院等ニ無償ニテ貸付シタル国有財産ノ処分ニ関スル法律施行期日ノ件（昭和14年12月28日勅令第891号）
 寺院等ニ無償ニテ貸付シタル国有財産ノ処分ニ関スル法律施行令（昭和14年12月28日勅令第892号）
 寺院等ニ無償ニテ貸付シタル国有財産ノ処分ニ関スル法律施行規則（昭和15年1月11日大藏省令第2号）

●電子書籍 宗教集覧 補巻2 戦後日本の〈宗教概念〉及び宗教調査・文部省編

① 戦後における宗教調査の実情 昭和35（1960）年

【目次抜粋】1 宗教調査の目的と方法
 1 宗教調査の意義 2 宗教調査の目的 3 宗教調査の方法
 2 宗教調査の現状
 I 概説 II 俗信 III 民間信仰 IV 神社神道 V 仏教 VI キリスト教 VII 教派神道、「新興」宗教 VIII 宗教的パーソナリティーの研究 IX 総合調査のなかの部分的宗教調査 X 外国人の日本宗教調査 XI 日本人の外国宗教調査 XII 政府の行う宗教調査
 文献リスト
 秋葉隆、安藤慶一郎、有賀喜左エ門・森岡清美、江馬成也、エンブリ、古野清人、古野清人・阿部重夫、船津孝行、月光善弘、郷田洋文、原田敏明、萩原龍夫、林福苗、姫岡勤・・・和歌森太郎、柳川啓一、柳田国男、安間清、吉田雅男

② 宗教の定義をめぐる諸問題 昭和36（1961）年

【目次抜粋】第1部 宗教の定義をめぐる諸問題

第1章 宗教学の紹介 ―宗教とは何か―
 1 宗教学の領域 2 宗教をどう定義するか 3 宗教の基本的構造と機能
 4 個人の場における宗教 5 宗教的行為の形態 6 信仰体制の形成
 7 宗教思想の諸相 8 社会の場における宗教 9 むすび
 第2章 宗教学史の回顧 ―宗教はどのように研究されてきたか―
 1 宗教の原初形態 2 呪術・科学・宗教 3 聖なるもの
 第3章 宗教の真理について ―哲学の立場から宗教をみる―
 A 宗教の真理認識の問題 B 宗教の真理評価の問題
 第4章 宗教の科学的研究 ―最近の社会科学による宗教の研究―
 1 科学と宗教 2 行動科学の立場 3 宗教の科学的規定の諸原則
 4 宗教行動の特徴 5 文化としての宗教の特徴 6 宗教体系の要素
 7 社会における宗教の機能 むすび

第2部 宗教の定義集

1 ミル 2 アーノルド 3 ケアード 4 ハックスレー・・・9 宇野円空 100
 長田新 102 鈴木大拙 103 川面凡児 104 キタガワ 全104名

シリーズ企画の意図

● 国家神道体制下と体制解体後の宗教状況の変化を比較対照できるように戦前―終戦直後―戦後復興期を代表する宗教団体の活動実態調査資料を「宗教集覧」としてまとめる。

● 戦前の宗教団体法成立をめぐる諸資料として仏教連合会が抄出したものを補巻1、政教分離後に文部省が推し進めた宗教概念の定義化、宗教団体の実態調査を補巻2として同時配信する。

● 3点の巻頭に、シリーズの見取図として磯前順一・高橋原による解説「宗教集覧と宗教法案の変遷」を付す。解説の役割はもちろんのこと、宗教法令、信教の自由、政教分離、GHQの宗教政策に関する研究資料を提示するものである。「宗教集覧」については、電子版のみに付く特典でもある。

● 3点を、12月配信『GHQ民間情報教育局と〈信教の自由〉政策―神道指令と宗教学者・岸本英夫』の補巻として位置づける。